

◆特集：シンポジウム・プログラム

日本華人教授会議主催第 12 回国際シンポジウム

21 世紀における中国のイノベーションと 中国経済の行方

開催の趣旨

近来、中国では「製造大国」から「製造強国」への変貌を狙う長期ビジョン「中国製造 2025」、ドイツでは「第 4 次産業革命」を狙う「インダストリー 4.0」、米国では「インダストリアル・インターネット」などのグラウンドビジョンが相次いで打ち出されました。日本でも今年 6 月に、「ロボット革命」やビッグデータの活用強化などをコアとする「日本再興戦略」が発表されました。世界の製造業大国の間では、製造業の次なる世界標準を狙う国際競争がすでに始まっております。

日本華人教授会議は 2003 年に創立して以来、今年で 12 周年を迎え、ちょうどひと回りになります。今年で 12 回目を迎える国際シンポジウムにおいて、経済セッションでは中国におけるイノベーションのパターンと「中国製造 2025」の内容、および産業高度化の課題を討論します。続いて、科学技術セッションではイノベーション能力の形成とイノベーターの育成という観点から、理工系教育の新しい課題とイノベーション創出型教育に焦点を合わせ、第一線級の専門家による講演とパネルディスカッションを行います。時代の先端を行く話題を取り上げますので、ふるってのご参加を期待しております。

【主催】日本華人教授会議

【日時】2015 年 10 月 12 日（月・祝日）13:00～17:30

【会場】東京大学本郷キャンパス山上会館 2 階 大会議室

プログラム

【総合司会】宋 立水（日本華人教授会議事務局長・明治学院大学教授）

オープニングセッション

【司会】 廖 赤陽（日本華人教授会議副代表・武蔵野美術大学教授）

【開会の挨拶】李 春利（日本華人教授会議代表・愛知大学教授）

【来賓挨拶】沈 建国（駐日本中華人民共和国大使館参事官）

【来賓挨拶】林 芳正（参議院議員・前農林水産大臣）

基調講演

【司会】 巨 東英（埼玉工業大学副学長）

【講演者】 吉川弘之氏（東京大学元総長、独立行政法人産業技術総合研究所最高顧問）
「基礎研究とイノベーション」

経済セッション

「共通論題：21世紀における中国のイノベーションと“中国製造2025”
— “世界の工場”の過去と現実」

【司会】 杜 進（拓殖大学教授）

【講演1】 丸川知雄（東京大学教授） 「中国の大衆資本主義と草の根イノベーション」

【講演2】 周 建波（北京大学教授）（日本語通訳あり）

「経済史の視点からみた中国製造業の高度化問題に対する考察」

【討論】 巖 善平（同志社大学教授）

金 堅敏（富士通総研経済研究所主席研究員）

馬 駿（富山大学教授）

科学技術セッション

「共通論題：21世紀における理工系教育の新しい課題
—イノベーション創出型教育、知的製造への挑戦」

【司会】 程 子学（会津大学副理事長・副学長）

【講演】 易 志堅（重慶交通大学副学長）（日本語通訳あり）

「イノベーション能力の育成および“インターネット+”に向けた挑戦と対策」

【パネルディスカッション：情報系・製造業のイノベーションとイノベーターの育成】

【パネリスト】 巨 東英（埼玉工業大学副学長）、金 群（早稲田大学教授）、

陳 迎（東北大学教授）、陳 昱（東京大学准教授）

総括セッション

【司会】 朱 炎（拓殖大学教授）

【総括】 朱 建榮（東洋学園大学教授）

閉 会